事業所名： グループホームふくうら

作成日： 令和 4 年 12 月 20 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	ホーム内研修やマニュアルを通して不適切な言動をしない取り組みを実践しているが、意識が薄い。	園内研修の充実、外部研修への参加等で、身体拘束、虐待に関する知識を高める。	身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会をはじめ、職員全員で話し合い自身の行動を振り返る。定期的に意識調査、アンケートを実施し、身体拘束・虐待だけでなく、不適切な対応のない介護を実践する。	12か月
2		緊急時の対応に不安がありケース別のマニュアルの必要性を感じている。	職員全員が実践できるわかりやすいマニュアルを作成する。	見直しを必要とする時、新規作成が必要な時は、職員全員で意見交換し話し合う。マニュアルはわかりやすい場所に掲示する。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。